

経営比較分析表（令和元年度決算）

大阪府高槻市 高槻市営高槻駅北地下駐車場

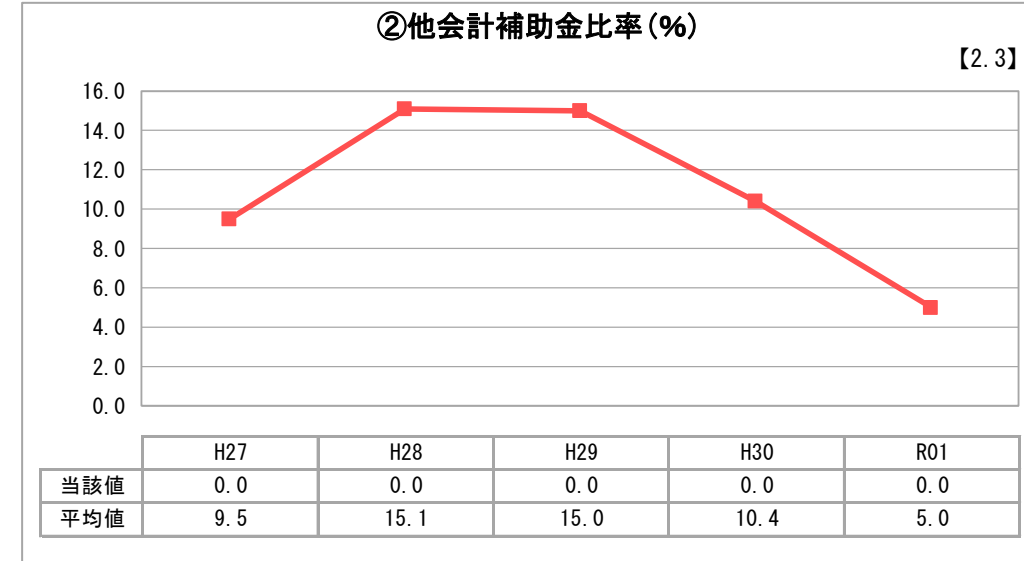
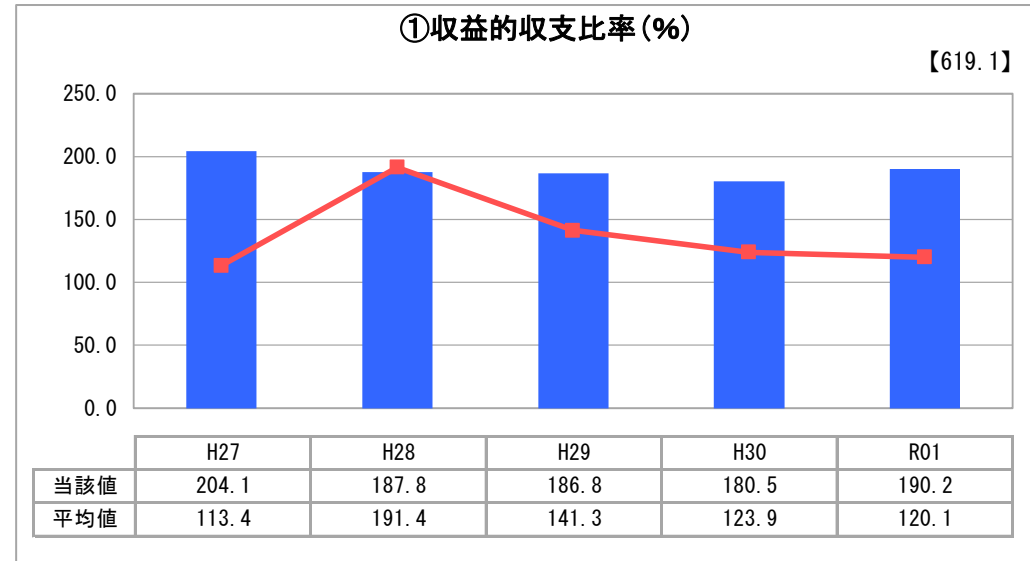
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	地下式	15	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	16,263
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
441	300	代行制

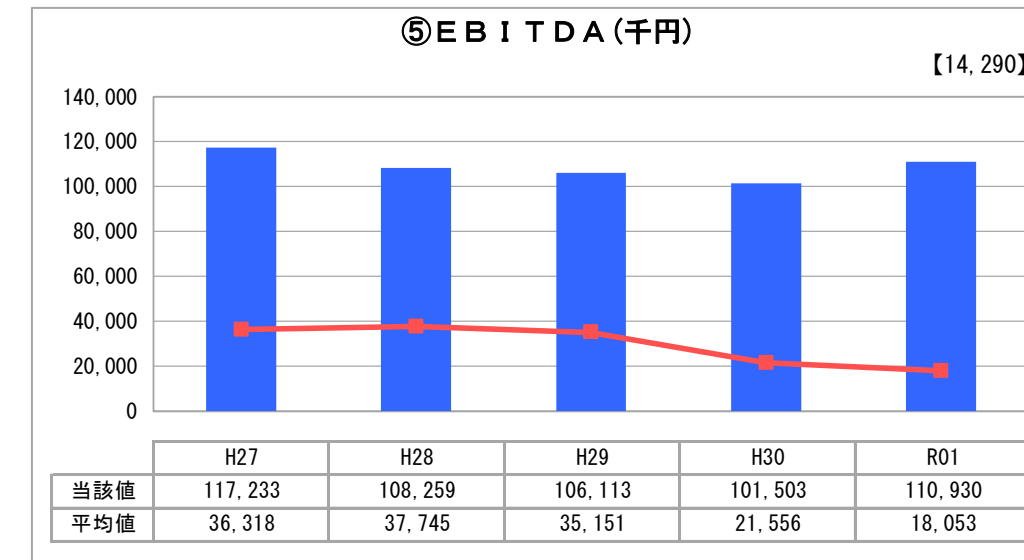
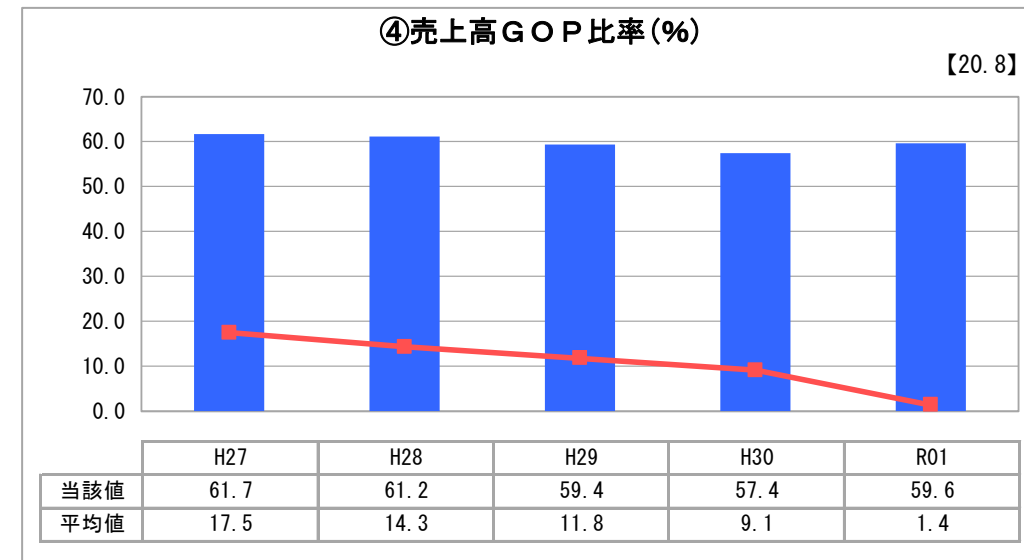
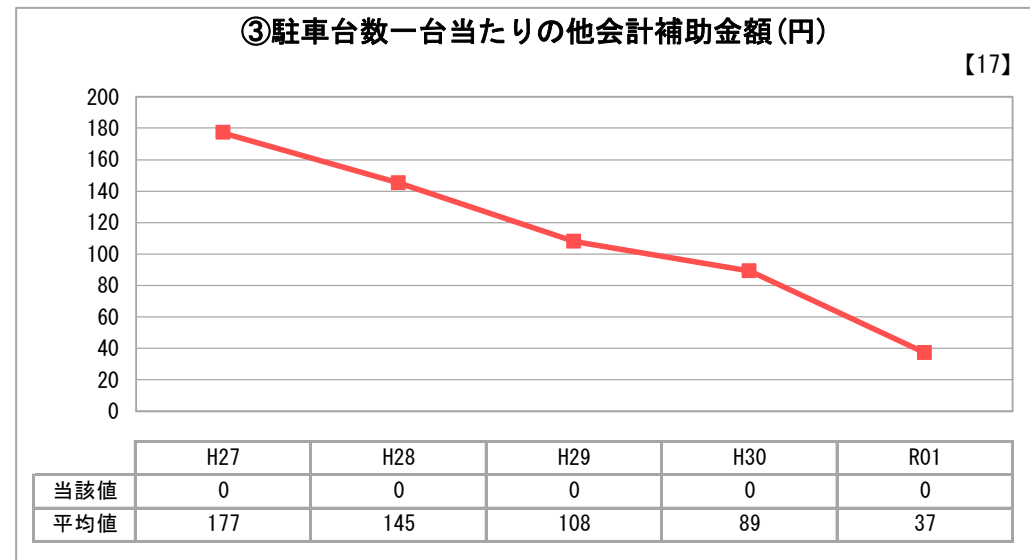
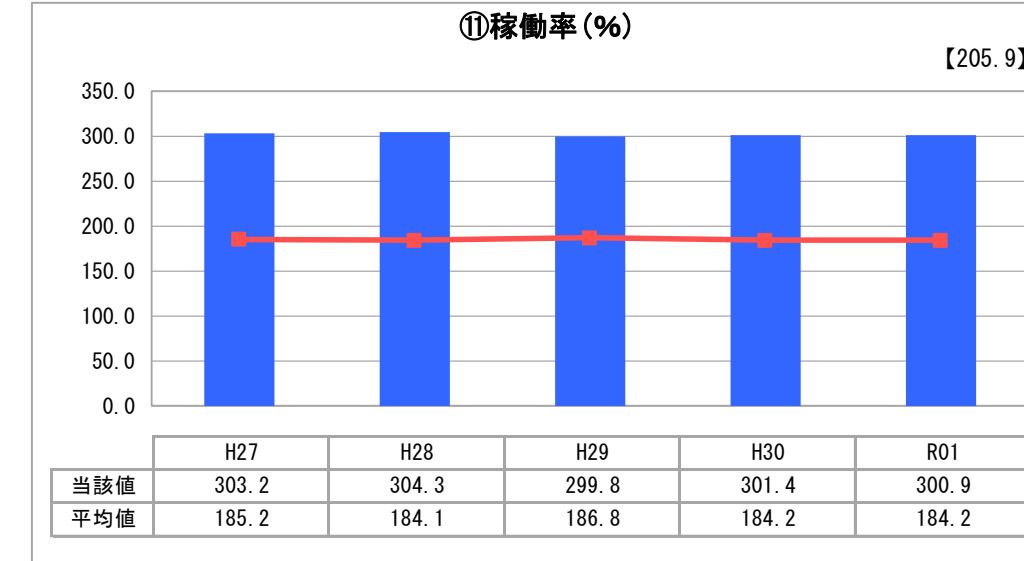
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

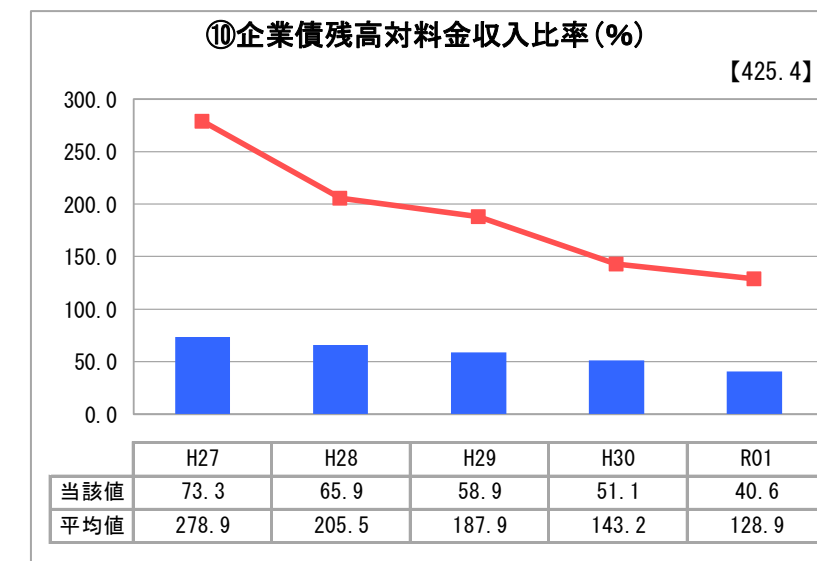


⑦敷地の地価(千円)

383

⑧設備投資見込額(千円)

57,684



分析欄

1. 収益等の状況について
 当該施設は、収益的収支比率、売上高GOP比率及びEBITDAが類似施設平均値よりも高く、収益性の高い施設である。

2. 資産等の状況について
 経年劣化により駐車場スラブにクラックが発生しているため、それらの補修を事後保全的に修繕している。
 また、換気設備や管制設備についても老朽化していることから、計画的に修繕を行うことで長寿化を図っていく。

3. 利用の状況について
 当該施設は、稼働率が類似施設平均値を大きく上回っており、この要因としては駅や商業施設と直結した場所に立地しているという条件によるものが大きいと考えられる。
 また、このような立地条件からも駐車需要が高く、継続した運営が求められる。

全体総括

当該施設は黒字経営であり、全国の類似施設と比較しても収益性の高い施設である。利用者の大部分は近隣商業施設や駅の利用客であることから駐車需要も高く、今後も駐車場機能が必要である。
 また、支出面では、設備の維持補修や修繕積立金、公債費の償還に毎年一定の額を要する。それら支出面を勘案しても当該施設は収益性が非常に高い状況にあるが、必ずしも市営である必要はないことから、今後は将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定に取り組む中で、収支状況を注視しながら、民間による経営が可能な場合には、民間への貸付等を含めた施設のあり方を検討していく。